



# 立命館大学21世紀COEプログラムと ジョイントワークショップ

吉越 昭久 YOSHIKOSHI Akihisa

立命館大学文学部人文学科地理学専攻 教授

(21世紀COEプログラム サブリーダー、歴史都市防災研究センター副センター長)

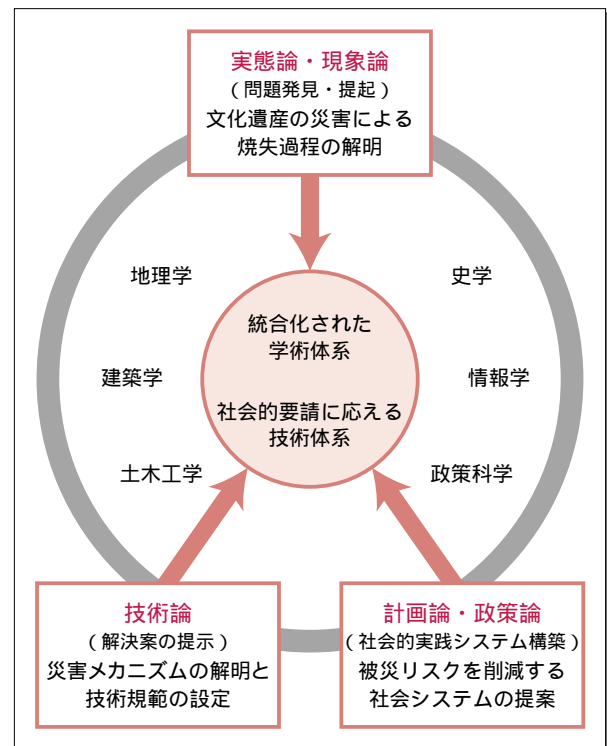
専門：歴史水文学（過去の水文環境や水害などを研究）

## 1 21世紀COEプログラムの研究

立命館大学では、現在、4つの21世紀COEプログラム（以下、COEという）が研究活動を行っているが、そのうちの1つが平成15年度に「文化遺産を核とした歴史都市の防災研究拠点」というテーマで採択された本COEである。このCOEの狙いは、以下の通りである。これまで文化遺産や防災に関するそれぞれの研究は盛んに行われ、大きな成果をあげてきた。しかし、その両者を組み合わせた研究、つまり文化遺産の防災に関する研究はほとんど手つかずの状態にあった。本COEはここに注目して、京都という歴史都市を主たる対象に研究を進めることにしたのである。

研究の体系は図のように、「実態論・現象論」「技術論」「計画論・政策論」から成るが、研究推進メンバーが特定のテーマの研究を推進するだけでなく、COE内外で研究グループをつくり共同研究を実施することにも大きな特徴がある。また、総合大学のメリットを活かし、土木工学・災害科学・建築学・情報科学・政策科学・歴史学・地理学など文化遺産の防災にかかわる分野の研究者が、文理融合型の学際的な研究を推進していることも大きな特徴といえる。研究推進メンバーは、19名の専任教員と3名の客員教員から成るが、他にPD・RA・客員研究員・研究協力者など約100名がこれに取り組んでいる。京都を主たる研究対象にしているが、研究が散漫なることを防ぐために特定の地域（東山地域など）に焦点を絞ることにした。

既に、3年が経過し、「実態論・現象論」「技術論」に関しては多くの成果があがってきた。それと同時に清水寺から高台寺にいたる地域では、メンバーによる防災計画が国の事業に採用され、今年度から具体的な事業が始まるようになっている。本COEの研究の重点は、今年度と来年



度においてはまとめ的な意味を含む「計画論・政策論」に置かれようとしている。

なお、このCOEをもとにして、平成16年度には工学的な防災システムを研究するハイテクリサーチセンター整備事業に、平成17年度には主に人文・社会科学的な視点から防災にアプローチする学術フロンティア推進事業に採択（共に文部科学省）され、それぞれ「防災システムリサーチセンター」と「歴史都市防災研究センター」を建設して、COE終了後につなげる道をつけた。2つのプロジェクトは、必ずしもCOEとメンバー的には重複してはいないが、それぞれ50名程度がかかわって研究を進めている。

## 2 神奈川大学とのジョイントワークショップの位置づけ

本COEでは、これまで様々な機関と共同研究を展開してきた。国外ではユネスコなどの国際機関や、主としてアジア地域の大学や政府機関などとの共同研究、シンポジウムなどを開催してきた。国内では、COEで災害・防災研究を行っている大学とシンポジウムを開いたし、本COEの主導で文化遺産の防災にかかわる諸機関で文化遺産防災連絡会議を組織し、平成17年1月には国連防災世界会議においてシンポジウムを開催した。

今回、神奈川大学とのジョイントワークショップは、本COEの中でも歴史学や地理学の方針のメンバーを中心に、「実態論・現象論」に関心をもつメンバーが中心になって開催する。人文・社会科学的分野での共同研究はこれまでは小規模なものはあったが、本格的なものとしては今回が初の試みとなる。このため、直接関係するメンバーだけでなくCOE全体としても関心を寄せ、成果に期待している。

立命館大学・神奈川大学21世紀COEプログラム ジョイントワークショップ

### 「歴史災害と都市 京都・東京を中心に」

**開催日程** 2006年8月26日(土)・27日(日)

**開催場所** クイーンズタワーA 5階会議室(〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1)

参加  
無料

先着申込  
80名  
まで

第1日目 8月26日(土)

プログラムスケジュール

第2日目 8月27日(日)

13:00~13:10 開会挨拶  
吉越 昭久(立命館大学)  
村橋 正武(立命館大学COE拠点リーダー)  
福田 アジオ(神奈川大学COE拠点リーダー)  
趣旨説明  
北原 糸子(神奈川大学)

#### 1部 都市の歴史と災害復元

13:10~13:40 平安京の地形環境と災害  
河角 龍典(立命館大学)

13:40~14:10 平安京の祭礼と災害  
片平 博文(立命館大学)

14:10~14:40 公家町の火災と防災  
冷泉 為人(財・冷泉家時雨亭文庫)

14:40~15:00 休憩

15:00~15:30 近世京都の火災と復興  
鈴木 栄樹(京都薬科大学)

15:30~16:00 3次元でみる京都の景観と災害  
中谷 友樹(立命館大学)

16:30~17:00 質疑応答

#### 2部 関東大震災と社会

10:00~10:30 関東大震災の写真と地図のデータベース  
諸井 孝文(鹿島建設)  
北原 糸子(神奈川大学)

10:30~11:00 関東大震災の救済  
鈴木 淳(東京大学)

11:00~11:30 関東大震災後の社会  
佐藤 健二(東京大学)

11:30~13:00 昼食

#### 3部 歴史災害と現代

13:00~13:30 絵画を活用した防災 三河地震を素材として  
林 能成(名古屋大学)  
木村 玲欧(名古屋大学)

13:30~14:00 文化財と災害痕跡  
桂 雄三(文化庁)

14:00~14:30 日常のなかの災害認識  
香月 洋一郎(神奈川大学)

14:30~14:40 休憩

#### 4部 討論(司会:吉越昭久・北原糸子) 14:40~16:40

(プログラムの内容については変更になる場合がございます)

申込  
方法

ハガキ・FAX・Eメールにて以下の情報を記載の上お申込下さい。

参加希望日 氏名 住所 電話番号 所属機関

記載された個人情報は注意をもって管理し、ジョイントワークショップの円滑な運営のために活用させていただきます。

申込先

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学COE支援事務室 FAX:045-491-0659 E-mail:himoji-coe@kanagawa-u.ac.jp

\*問合せ TEL:045-481-5661(内線3532)